



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月3日

上場会社名 太平洋工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7250 URL https://www.pacific-ind.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川信也
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 渡辺智 (TEL) 0584-93-0117
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	108,038	△12.2	4,963	△27.0	5,873	△24.6	4,267	△23.4
2020年3月期第3四半期	123,075	22.3	6,798	6.6	7,791	4.3	5,568	0.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,856百万円(13.4%) 2020年3月期第3四半期 5,165百万円(13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	70.54	70.33
2020年3月期第3四半期	92.20	91.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	211,389	102,820	48.3
2020年3月期	204,280	98,422	47.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 102,014百万円 2020年3月期 97,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	16.00	—	14.00	30.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,000	△10.8	7,500	△28.6	8,500	△23.6	6,000	△17.3	99.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社 (社名) PACIFIC INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD. 、除外 2社 (社名) PACIFIC INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD.、PACIFIC AUTOPARTS (THAILAND) CO., LTD.
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	61,312,896株	2020年3月期	61,312,896株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	798,055株	2020年3月期	868,865株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	60,491,759株	2020年3月期3Q	60,402,356株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 【経営成績に関する説明】	2
(2) 【財政状態に関する説明】	2
(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】	3
2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】	4
(1) 【四半期連結貸借対照表】	4
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	6
【四半期連結損益計算書】	6
【四半期連結包括利益計算書】	7
(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1) 【経営成績に関する説明】

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日。中国とフランスの子会社は2020年1月1日～2020年9月30日の業績を連結）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、急激に減速しました。同感染症の拡大防止のため、各国・各地域で都市封鎖、人・物の移動制限、外出規制が行われ、消費需要は低下、生産活動は停滞しました。このような中、当社グループは「感染防止・生産体制維持を第一義に、GLOCALで足元固めをする」方針のもと、社員の感染防止、受注変動に合わせた生産調整、雇用維持と公的助成制度の活用、仕入先とのサプライチェーンの維持、投資の抑制・延期、コミットメントライン設定による運転資金の確保等を行ってまいりました。さらに、例年の原価改善活動を上回る、グループを挙げた収益改善・固定費削減活動を推進してまいりました。

その後、世界経済は徐々に活動を再開いたしましたが、同感染症の再拡大も懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましては、主要顧客の自動車生産台数は、第1四半期連結会計期間では前年同期比で大幅な減産となりましたが、第2四半期連結会計期間に回復し、第3四半期連結会計期間では日本・中国及び北米において、生産が前年同期を上回りました。

これを受け、当社グループの第3四半期連結会計期間（2020年10月1日～2020年12月31日。中国とフランスの子会社は2020年7月1日～2020年9月30日の業績を連結）は、収益改善・固定費削減活動の成果に加え、生産が回復したこと等により、業績は売上高・各利益ともに同期比で過去最高となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,080億38百万円（前年同期比12.2%減）となりました。利益面では、売上減による利益減があるものの、収益改善・固定費削減活動の成果などにより、営業利益49億63百万円（前年同期比27.0%減）、経常利益58億73百万円（前年同期比24.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益42億67百万円（前年同期比23.4%減）となり、第2四半期連結累計期間に比べ、前年同期に対する減収減益幅を大幅に縮小いたしました。

【セグメント別の状況】

（プレス・樹脂製品事業）

コロナ影響による受注減により、当事業全体の売上高は755億81百万円（前年同期比10.1%減）となりました。利益面では、収益改善・固定費削減活動の成果と顧客の生産回復により当第3四半期連結会計期間も黒字となり、第1四半期連結会計期間の赤字をカバーすることができたため、当第3四半期連結累計期間は営業利益18億53百万円（前年同期比2.8%減）とほぼ前年並みの利益となりました。

（バルブ製品事業）

コロナ影響による受注減により、当事業全体の売上高は323億59百万円（前年同期比16.7%減）となりました。利益面では、収益改善・固定費削減活動の成果と顧客の生産回復により当第3四半期連結会計期間も黒字となり、当第3四半期連結累計期間は営業利益30億60百万円（前年同期比36.9%減）と利益を上積みしました。

（その他）

その他は主に情報関連事業等のサービス事業から成っており、売上高は98百万円（前年同期比46.6%減）、営業利益は2百万円（前年同期比79.5%減）となりました。

なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

(2) 【財政状態に関する説明】

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は2,113億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して71億9百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は638億87百万円となり、前連結会計年度末と比較して28億26百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が58億81百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が17億76百万円、たな卸資産が9億86百万円それぞれ減少したことによるものであります。受取手形及び売掛金の減少は、主に売上高の減少によるものであります。

固定資産は1,475億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して42億82百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産が17億79百万円、時価評価等に伴い投資有価証券が38億33百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は448億77百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億70百万円の増加となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が44億86百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が5億68百万円、賞与引当金が7億83百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は636億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億40百万円の増加となりました。

純資産の部は、利益剰余金が28億5百万円、その他有価証券評価差額金が25億8百万円増加しましたが、為替換算調整勘定が9億46百万円減少したこと等により、前連結会計年度末から43億98百万円増加し1,028億20百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は48.3%となり、前連結会計年度末と比較して、0.5ポイント増加しました。

(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

当社グループは、日本および海外8カ国に生産・販売拠点があり、グローバルに新型コロナウイルス感染症の影響を受けております。同感染症の今後の広がり方や収束時期は不透明なうえ、経済に与える影響は拠点によって程度が異なり、先行きの予想が難しい状況にあります。

このような中、当第3四半期会計期間の連結業績は、グループを挙げた収益改善・固定費削減活動の成果および主要顧客の生産回復により、売上高・各利益ともに同期比で過去最高となりました。しかしながら、回復具合は地域・顧客によって異なります。

加えて、足元では緊急事態宣言が再発出される等、第4四半期会計期間の連結業績については不透明さが増しております。最新の各国の同感染症拡大状況や規制状況、顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、第4四半期は引き続き回復傾向にある、と想定いたしました。

これらの結果、通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、第4四半期連結会計期間の為替レートの前提は、1US\$=105円と置いております。

これらの想定には不確実性が含まれているため、今後の同感染症の拡大状況等によっては、実際の業績が予想から大きく乖離する可能性があります。

2021年3月期 通期の連結業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	145,000	6,000	6,500	4,500	74.38
今回修正予想(B)	148,000	7,500	8,500	6,000	99.18
増減額(B-A)	3,000	1,500	2,000	1,500	—
増減率(%)	2.1%	25.0%	30.8%	33.3%	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	165,969	10,511	11,130	7,256	120.12

2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,315	24,197
受取手形及び売掛金	24,452	22,675
商品及び製品	6,522	6,091
仕掛品	4,638	3,874
原材料及び貯蔵品	3,829	4,037
その他	3,375	3,103
貸倒引当金	△74	△94
流動資産合計	61,060	63,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,155	25,366
機械装置及び運搬具（純額）	41,729	44,749
工具、器具及び備品（純額）	5,499	6,260
土地	9,884	9,994
リース資産（純額）	1,219	1,140
建設仮勘定	13,873	12,630
有形固定資産合計	98,361	100,141
無形固定資産		
のれん	8,056	7,223
その他	5,626	5,222
無形固定資産合計	13,682	12,445
投資その他の資産		
投資有価証券	25,796	29,630
その他	5,382	5,288
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	31,175	34,915
固定資産合計	143,219	147,502
資産合計	204,280	211,389

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,876	10,308
電子記録債務	7,017	7,741
短期借入金	4,720	4,816
1年内返済予定の長期借入金	6,450	10,937
未払金	4,457	3,583
未払法人税等	583	1,346
賞与引当金	1,563	779
役員賞与引当金	57	25
その他	7,080	5,339
流動負債合計	42,807	44,877
固定負債		
長期借入金	52,471	52,382
役員退職慰労引当金	184	165
退職給付に係る負債	682	714
その他	9,712	10,428
固定負債合計	63,050	63,691
負債合計	105,858	108,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,316	7,316
資本剰余金	7,705	7,744
利益剰余金	73,443	76,248
自己株式	△246	△224
株主資本合計	88,220	91,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,653	13,161
為替換算調整勘定	△1,139	△2,085
退職給付に係る調整累計額	△176	△146
その他の包括利益累計額合計	9,337	10,929
新株予約権	184	141
非支配株主持分	680	664
純資産合計	98,422	102,820
負債純資産合計	204,280	211,389

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	123,075	108,038
売上原価	106,520	94,306
売上総利益	16,555	13,732
販売費及び一般管理費	9,756	8,768
営業利益	6,798	4,963
営業外収益		
受取利息	67	26
受取配当金	580	569
持分法による投資利益	393	384
助成金収入	1	241
その他	271	238
営業外収益合計	1,314	1,460
営業外費用		
支払利息	237	277
為替差損	51	223
その他	33	49
営業外費用合計	322	550
経常利益	7,791	5,873
特別損失		
固定資産除売却損	126	89
特別損失合計	126	89
税金等調整前四半期純利益	7,664	5,783
法人税等	2,113	1,536
四半期純利益	5,550	4,247
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	△19
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,568	4,267

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,550	4,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,879	2,452
為替換算調整勘定	△2,139	△850
退職給付に係る調整額	△102	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△23
その他の包括利益合計	△384	1,609
四半期包括利益	5,165	5,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,175	5,859
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△2

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	84,036	38,855	122,891	183	123,075	—	123,075
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	300	300	△300	—
計	84,036	38,855	122,891	484	123,376	△300	123,075
セグメント利益	1,906	4,846	6,753	10	6,764	34	6,798

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益の調整額34百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	75,581	32,359	107,940	98	108,038	—	108,038
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	276	276	△276	—
計	75,581	32,359	107,940	374	108,314	△276	108,038
セグメント利益	1,853	3,060	4,914	2	4,916	47	4,963

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益の調整額47百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当社グループは、日本および海外8カ国に生産・販売拠点があり、グローバルに新型コロナウイルス感染症の影響を受けております。同感染症の今後の広がり方や収束時期は不透明なうえ、経済に与える影響は拠点によって程度が異なり、先行きの予想が難しい状況にあります。

このような中、当第3四半期会計期間の連結業績は、グループを挙げた収益改善・固定費削減活動の成果および主要顧客の生産回復により、売上高・各利益ともに同期比で過去最高となりました。しかしながら、回復具合は地域・顧客によって異なります。

加えて、足元では緊急事態宣言が再発出される等、第4四半期会計期間の連結業績については不透明さが増しております。最新の各国の同感染症拡大状況や規制状況、顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、第4四半期は引き続き回復傾向にあるとの想定のもと、有形固定資産および無形固定資産の減損会計の適用、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

上記の想定は、前事業年度の連結財務諸表の作成に用いた想定から、重要な変更はありません。

これらの見積りには不確実性が含まれているため、予測不能な前提条件の変化等により見積りが変化した場合には、結果として将来追加で費用または損失を計上する可能性があります。